

☆本要項の会場、参加申込などについては日ラ公式Webサイトに掲載する最終版の要項で
ご確認のうえお申し込みください。

1. 大会名 平成29年度 ヤングスターランクリスト競技大会
2. 主催 公益社団法人 日本ライフル射撃協会
3. 主管 各加盟団体
4. 後援 日本ライフル射撃協会 ジュニア育成委員会
5. 期日 サマーカップ：平成29年 7月 22日(土)、23日(日)
オータムカップ：平成29年 11月 3日(金)、4日(土)
ウィンターカップ：平成30年 2月 3日(土)、4日(日)
6. 会場 (1) 指定会場 後述17. 参加申込に記載の指定会場で開催予定です。
後述の指定会場以外に以下の条件も満たす会場設営が可能で、
射撃連盟が主催する場合は、日ラ事務局経由で競技運営委員会
に申し込んでください。
① 会場が日ラの公認射撃場であること。
② G3の競技会運営体制がとれること。
7. 開会式 実施しません。
8. 閉会式 実施しません。

9. 競技種目	中学生：10mARS60M、10mARS40W
	中学生：10mBRS60M、10mBRS40W
	小学生：10mARS40MW
	小学生：10mAR自由姿勢40MW
	小学生：10mBRS40MW
	小学生：10mBR自由姿勢40MW
	中学生：10mAPS60M、10mAPS40W
	中学生：10mBPS60M、10mBPS40W
	小学生：10mAPS40MW
	小学生：10mAP自由姿勢40MW
	小学生：10mBPS40MW
	小学生：10mBP自由姿勢40MW

10. 競技方法 競技は個人戦で、各月の上記の連続する土日の2日間の内各日1回、もしくは同じ日の違う射群に出場して2日間で合計2回まで競技をすること。連続する土日で3回以上競技を行なったものは、その土日での3回目以降の成績を無効とします。
成績の各会場分は当日中に当該会場に掲示する。全国の参加選手の成績については当協会ホームページ上にて、各種目ランキング表を公表します。
11. 競技規則 **原則として射撃競技規則最新版による。但し、成績表は整数にて作成のこと。**
G3の競技会では、記録の公認、段級受験も可ですが、日本記録の公認はされません
1) 記録は、競技後にエクセルの書式で入力した参加者全員（氏名、所属、西暦の生年月日、日ラ会員ID、射群、射座番号、各シリーズの点数、合計点数を必ず整数で作成）の成績表を協会事務局まで電子メールにて送付してください。
※競技日は必ず記載すること。
※同一日に2回競技を行った者については、1回目、2回目と必ず記載すること。
2) 上位者の標的を送付いただく必要はありません。
3) 射座割りには主管団体の判断により、参加者の便宜をできるだけはかること。射群をエントリー時等にあらかじめ指定し、射群内の射座については当日抽選等で指定しても可とします。
4) ファイナル競技は実施しません。
5) 段級の受験について。第15条3の記載通り、1級と初段の同時受験は禁止。
(同月の競技会では受験できません) また同一種目を受験する場合、1日1競技でしか受験できません。(最初の競技でしか段級は受験できません。複数受験は可)

12. 使用標的 (1) 10mエアライフル (2) 10mエアピストル
(3) 10mビームライフル (4) 10mビームピストル
13. 参加資格 (1) 日本ライフル射撃協会登録済の小学生、中学生の会員
(2) 上記の未登録者であっても、主管団体の判断で試合当日までに必要費用を添えて日ラ会員登録の申請をした者。(入会金500円、年会費1000円)
(3) 会場地において、射座数の関係から、参加制限を実施することがあります。
14. 参加制限 各会場の状況により、制限することがあります。
15. 表彰 日本ライフル射撃協会に申請のあった会場の成績を全国参加者で集計し各大会毎、各カテゴリーの上位3名に表彰状・賞品を後日郵送します。
参加者10名以下のカテゴリーは表彰しません。
16. 参加料 各種目1,000円/1回(40発・60発競技のうち1種目)を目安として、主催者が定めます。
主催者が参加可能と判断する場合には当日参加も認めます。
17. 参加申込 下記の各会場の申込先に申し込んでください。
☆随時、新規会場の追加指定等を行いますので、日ラのホームページに掲載する本要項の最終版でご確認のうえ申し込んでください。
下記の申込先に、次の必要事項を記入した書類を郵送またはFAXで申し込んで下さい
アドレスの表示がある場合はE-mailでも可。
申込必要事項：氏名、所属、西暦の生年月日、平成29年度の日ラ会員ID、出場種

※会場、申込先等は変更されることがありますので、詳細は日ラ公式Webサイトで必ずご確認ください。

- 1) 宮城県営ライフル射撃場 [AR・AP・BR・BP (DP)]
〒986-2102 宮城県石巻市沢田字金山51-1 (Tel 0225-97-5429)
申込先: 981-0911 仙台市青葉区台原2-5-41 1-101
宮城県ライフル射撃協会事務局 (E-mail mra-jimukyoku@tbz.t-com.ne.jp)
 - 2) 横須賀市営くりはま花の国AR射撃場 [AR・AP・BR・BP (DP)]
〒239-0832 神奈川県横須賀市神明町1番地 (Tel 0468-33-8300)
申込先: 〒239-0832 神奈川県横須賀市神明町1番地
横須賀市ライフル射撃協会 栗山公秀
(Tel/Fax 046-833-6990) (E-mail yokosuka_rifle@ybb.ne.jp)
 - 3) 新潟県立胎内ライフル射撃場 [AR・AP・BR・BP (DP)]
新潟県胎内市熱田坂881-92 TEL 0254-48-3208
申込先 新潟県ライフル射撃協会 西澤精一
FAX 0254-48-3600 (E-mail:t.rifle@iplus.jp)
 - 4) 福井県立ライフル射撃場 [AR・AP・BR・BP (DP)]
福井県福井市杉谷町49-40-2
申込先 福井県ライフル射撃協会 事務局 西政幸
FAX: 0776-38-2290 (E-mail nishi@pop21.odn.ne.jp)
 - 5) 和歌山県立ライフル射撃場 [AR・AP・BR・BP (DP)]
和歌山県海南市高津字大北原1181
申込先 和歌山県ライフル射撃協会 出来可也
FAX: 073-423-0735 (E-mail: dekisuke@gold.ocn.ne.jp)
 - 6) 長崎県小江原町 長崎県小江原射撃場 [AR・AP・BR・BP (DP)]
〒851-1132 長崎県長崎市小江原5-1-10 (Tel 095-845-0108)
申込先: 〒852-8103 長崎市緑町13-15 鍵山博 (Tel/Fax 095-845-3340)
 - 7) 國友銃砲火薬店 [BR・BP (DP)]
京都府京都市下京区寺町通仏光寺東入る
申込先 〒601-8047京都市南区東九条下殿田町70番地 京都府スポーツセンター内
京都府ライフル射撃協会 電話 075-692-3480
橋本敦之(携帯 090-5244-5406)
 - 8) 秋田県立総合射撃場
秋田県由利本荘市岩城町道川字新田沢43 (Tel 0184-73-3900)
〒010-0043 秋田県秋田市桜ガ丘三丁目10-23
秋田県ライフル射撃協会事務局 伊藤 光長 宛
Tel・Fax: 018-833-8981 E-mail: fu96@cna.ne.jp
18. 宿泊・昼食 各自負担とします。
19. 銃器・弾薬 各自負担とします。運搬、携帯、保管には特に留意してください。
20. 公式練習 実施しません。
21. 人云具社
老 大会委員長 大野 博之
競技委員長 溝部 政司
22. 日ラホームページ <http://www.riflesports.jp/>

平成 29 年 6 月 13 日

ヤングスターランクリスト競技大会を開催するに際しての補足説明

大会委員長

標記競技大会を開催するに際して、HP で公表されている大会要項について、補足いたします。

1. 競技種目 (要項のとおり)

すべての種目の成績は整数にて集計されます。

2. 自由姿勢について

■ビームライフル 自由姿勢 <ヤングスターランクリストでの取り決め>

①依託台を使用することができます。

射撃姿勢は、委託台を使用した座位、委託台を使用した立位いずれでも可とします。

ただし、ライフルと委託台の接する場所については、次のとおりとします。

- ・銃の銃床部用心鉄より先の部分に 1 個 (台) を使用することができます。
 - ・銃が接触する依託台の接触面は、1 か所につき 6 c m×6 c mを超えない範囲とし、銃床底面及び側面の各一か所の接触を認めます。
 - ・依託台の接触面は、射台の平面に対し水平または垂直とし、銃と依託台の接触部分に射手の体の一部分でも触れてはいけません。
 - ・なお、銃床部分の擦過等の防止を目的とする 2~10 ミリ程度の厚さのいわゆる緩衝材 (ラバー等) を貼りつけることは認めるものとします。
- ②依託台は射手、銃、机 (射台)、椅子、マット、床等と固定してはいけません。
- ③着席した据銃姿勢をとる場合は、机 (射台)、マット及び椅子は、原則として主催者が準備するものを使用しなければなりません。但し、高さ変更の出来ないいすの場合は体格に合せて座布団等で高さを調整してもかまいません。

■ビームピストル 自由姿勢<ヤングスターランクリストでの取り決め>

- ①ピストル射撃での自由姿勢は、下図の通り立位にて、委託台を使用する姿勢とします。
- ②委託台がピストルと接する箇所形状については、カマボコ状とします。
- ③委託台とピストルの接する場所については、銃把部分とします。
- ④委託台は射手、銃、机 (射台)、椅子、マット、床等と固定してはいけません。
- ⑤委託台のカマボコ状の部分は、直径 5 c m 前後のカマボコの形状とし、粘着性があるものは不可とします。



委託台のカマボコ状部分の目的は、銃把と委託台が半固定化されることを防ぐことです。下図右の形態は不可とします。



可の委託台の形状



不可の委託台の形状

ジュニアタレントの発掘事業で使用している委託台は、ライフルレストの上面板部分に、ホームセンターで販売している「ソフトガードクッション」を両面テープで貼り付けたものです。発泡ゴム製で、直径が6cmの半円形のものを利用しております。

3. 会員外の競技会参加について

本競技会の目的の一つが、ジュニア選手の発掘であることから、当協会の会員で無いジュニア選手も参加することができます。ただし、会員で無い方の成績は全国順位には反映されません。

————— この件についてのお問い合わせ先 —————

公益社団法人 日本ライフル射撃協会
〒150-8050 東京都渋谷区神南 1-1-1 岸記念体育会館内
Tel:03-3481-2390 /Fax:03-3481-2392
担当者 三野 takuyamino@sound.ocn.ne.jp